

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

人名	社会福祉法人 横浜 YMCA 福祉会	代表者	佐竹 博	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人 横浜 YMCA 福祉会 ・YMCA ライフサポートセンター鶴見は「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」という4つの価値をすべての場面で大切にし、小規模多機能居宅介護支援事業所を運営しております。
事業所名	YMCA ライフサポート センター鶴見	管理者	石井 敦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0	2	3	1	0	1	1	3	0	11

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	感染症対策を考慮しながら会議、研修の実施。 確認会、書面、メール等で情報共有、意見交換を行う。	感染症対策を行いながら会議や研修を行うことが出来た。 書面やメールを活用し意見交換が出来た。勤務時間、出勤回数が少ないスタッフと意見交換をすることが不十分	事業所の自己評価が低いと感じる。十分に活動されていると思う。	継続して感染症対策をしながら運営を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	室内の清掃、環境を整え、感染症予防に配慮。 季節感のある飾りつけ 高齢者の見やすい掲示	感染予防に留意した運営ができた。季節感がある掲示を行っている。行事を行う回数は少ない。	感染症の状況に合わせて工夫して活動してください。	継続して清掃、環境整備、感染症予防を行う。季節感のある飾りつけ。高齢者が見やすい掲示を行うように心がける。
C. 事業所と地域のかかわり	感染予防に配慮しながらケアプラザ、包括支援センター、近隣事業所、地域資源と情報共有、意見交換を行う。	外部と交流する機会が少なくなっている。	今年も地域は活動が減っている。	継続して感染予防に配慮しながらケアプラン、包括支援センター、近隣事業所、地域資源と情報共有、意見交換を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染予防に配慮しながらケアプラザ、包括支援センター、近隣事業所、地域資源と協力し本人が自宅で生活続けられるように支援する。	サービス提供することによりサービスが中止になり今までの地域の関係がなくなってしまうことがある。	ライフサポートセンターの活動は住民には知名度が無い	継続して感染予防に配慮しながらケアプラザ、包括支援センター、近隣事業所、地域資源と協力し本人が自宅で生活続けられるように支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	感染予防に配慮した会議の実施	人数を少なくしての会議実施。書面を利用した意見交換の実施。	Web を生かして行ってください。	継続して感染予防に配慮した会議の実施

F. 事業所の 防災・災害対策	ビルの消防訓練への参加 運営推進会議を利用したの避難 訓練	運営推進会議での避難訓練は行 えなかった。利用者の安全を考え ると訓練の参加者が一部利用者 に限られている。	感染に気をつけながら地域の訓 練に参加して欲しい。	ビルの消防訓練への参加 運営推進会議を利用したの避難 訓練
--------------------	-------------------------------------	---	------------------------------	-------------------------------------